

市町村名	北大東村														
<b>令和5年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート</b>															
事業名	農・福・親連携6次産業推進活性化事業				事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他									
担当部署名	経済課	<input checked="" type="checkbox"/> 現年事業 <input type="checkbox"/> 繰越事業	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	事業実施(予定)年度	平成29～令和8年度										
事業内容	農業振興、障がい者福祉、観光振興に資する施設を整備する。 先導性等に係る取組 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 自立性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携</td> <td><input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 官民協働</td> <td><input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成</td> <td><input type="checkbox"/> その他</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><input type="checkbox"/> 離島地域特有の条件不利性に起因するもの</td> </tr> </table>						<input type="checkbox"/> 自立性	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成	<input type="checkbox"/> 官民協働	<input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 離島地域特有の条件不利性に起因するもの		
<input type="checkbox"/> 自立性	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成													
<input type="checkbox"/> 官民協働	<input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> その他													
<input type="checkbox"/> 離島地域特有の条件不利性に起因するもの															
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和8年度)														
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )														
予算額・執行額 【単位:円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		~R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R5年度									
	当初予算額	250,657	333,242	-	9,700	7,200									
	増減額	▲ 203,173	0	-	0	300									
	予算現額	47,484	333,242	-	9,700	7,500									
	前年度から繰越	-	-	333,242	-	-									
	翌年度へ繰越	-	333,242	-	-	-									
	計(A)	47,484	0	333,242	9,700	7,500									
	執行済額(B)	46,505	0	7,536	8,595	7,500									
	うち補助金充当額	37,199	0	6,029	6,876	5,760									
	不用額	979	0	325,706	1,105	0									
執行率(%) (B/A)	97.9%	0.0%	2.3%	88.6%	100.0%										
予算の状況の説明	300千円の増額については単費対応したのもである。														
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況												
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度								
	人材育成(現業実習)	目標	3回	3回	2回	3回	3回								
		実績	3回	2回	3回	3回	4回								
			目標												
		実績													
達成状況説明	-プログラムA(長期就労体験実習)1回、プログラムB(短期就労体験実習)3回の4回行い、延べ9人が参加した。														

成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (H29年度)	R3年度	R4年度	R5年度	後年度目標値 (R8年度)
	加工品販売額	目標		426万円	426万円	426万円	678万円
		実績	262万円	477万円	168万円	408万円	
	成果目標(指標)		基準値 (H29年度)	R3年度	R4年度	R5年度	後年度目標値 (R8年度)
	障がい者の雇用 (延べ人数)	目標		-	-	-	5人
		実績	0人	4人	4人	4人	
	成果目標(指標)		基準値 (H29年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (R5年度)
	就労体験受け入れ者数	目標		12人	8人	12人	12人
		実績	11人	5人	6人	6人	9人
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業体験実習で島を訪れ、その後雇用に繋がった人が令和5年度までに4人となった。</li> <li>・就労体験実習受入数は、目標人数は12人であったが、実習生は9人であったが、有資格者の支援員も併せて受け入れたため14人の受入を実施した。</li> </ul>					

取組の検証	成果目標に対する原因・要因分析	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「加工品販売額」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止による来島自粛等の影響により、消費量が少なくなり新たに仕込みができなかったじゃがいもを使用した焼酎等が、本年度より販売再開したこと等に併し前年度より240万円(125%)増加した。</li> </ul> </li> <li>○「障がい者の雇用」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・北大東村島の現状としては、一人で自立が難しい障がい者を雇用し移住・定住に繋げていくには、受入体制や就労支援体制の整備や雇用の場の不足が課題となった。</li> </ul> </li> <li>○「就業体験受入者数」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明会等を通して就業体験応募があった方々への選考を行った結果、目標人数の受け入れ者数までは至らなかった。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「加工品販売額」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工品販売額は増加したが、作付面積自体は横ばいであったため、作付面積の増加等に伴う生産量の増加を目指し、新たな特産品の創造等による販売額の増に繋げることが必要。</li> </ul> </li> <li>○「障がい者の雇用」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者が単身で移住できるようにするため、国の基準に沿った共同生活支援施設(居住施設)や、就労支援体制などの障害福祉サービス事業、障がい者雇用の場を整備することが必要。また、地域内で障がい者雇用に対する理解や協力をより一層得るために、「農福観連携事業」の意義や就業体験実習の実績を地域内に広報する必要。</li> </ul> </li> <li>○「就業体験受入者数」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業体験への応募数自体が少なかったことから引き続きパンフレットなどの作成を行い、障がい者福祉関連事業者等への配布や説明会を実施し就業体験応募者数を増加させることが必要。</li> </ul> </li> </ul>

今後の取り組み方針	
○「加工品販売額」	島で栽培しているじゃがいもやかぼちゃ等の生産量の増加や、じゃがいも以外の既存農産物もしくは付加価値の高い新規農産物生産も検証し、加工センターの通期での稼働率を高める検討を行う。
○「障がい者の雇用」	一般社団法人 北大東島振興機構が主体となって、定住を希望している障がい者の共同生活支援施設や就労支援施設等の計画を行い、障がい者に対する理解や協力を得るため広報活動を行う。
○「就業体験受入者数」	障がい者福祉関連イベント等でPRを行い北大東島での就業体験への認知度向上をさせ、就業体験申込者数の増加を図る。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担額	補助対象外経費
	7,500	7,500	5,760	1,740	0
<pre> graph LR     A[北大東村 7,500千円] --&gt; B[委託料 7,500千円]     B --&gt; C["(一社)北大東島振興機構 7,500千円"]     </pre>					

資金の流れ、検評費用	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	ホームページ上で企画競争の公募をおこなったが、一社だけの応募であった委託法人については、過去に事業実績もあり、当該業務の委託先として妥当であると考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算の積算については、1社見積りにより行った。過年度実績を元に積算したものとされており妥当と考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。